福井	工業高等	 専門学校	開講年度	令和05年度 (2	2023年度)	授業科目	海外インタ	ーンシップ				
科目基礎		<del>八</del> 门丁仪			2025年皮)	JX <del>*</del> /17L	1  /1 <del>4</del> /1   1 2 2					
科目番号						専門 /	専門 / 必修					
授業形態		実習										
開設学科			テム工学専攻		単位の種別と単位 対象学年	専1	<u></u>					
開設期前期					週時間数							
教科書/教	 材				1.=							
担当教員	•	芳賀 正和	,辻子 裕二									
到達目標			,									
(1) 長期間、海外の企業等においての実務を経験し、その体験を通して認識した実務上の工学的問題および社会のニーズについて文章、口頭発表で報告できること。 (2) インターンシップ報告会において、自分が理解している内容を正確に示すことができること。												
ルーブリック												
			理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レク	ジルの目安	未到達レベル	未到達レベルの目安				
評価項目1			海外インターンシップで経験した 実務上の工学的諸問題を十分に認 識し、具体的に複数示すことがで きる		海外インターンシップで経験 実務上の工学的諸問題を認識 具体的に示すことができる		、 事務上のT <sup>*</sup>	海外インターンシップで経験した 実務上の工学的諸問題を認識し、 具体的に示すことができない				
評価項目2												
評価項目3												
学科の到	達目標項	目との関係	条									
教育方法	等											
<del>1</del> 817 <del>275</del>		技術社会は外の企業な	技術社会および国際社会への関心をもつとともに、自己と社会と世界との関係を考えるきっかけとする。そのため、海外の企業などの現場における就業体験を通じて自らの能力涵養、適性の客観的評価を図り、将来の進路決定に役立てる。									
概要		一じて知りる	また、ペーパーテストでは評価できない、情報発信型能力などの新たな能力の開拓、および海外インターンシップを通じて知り合ったヒトとの情報ネットワークの構築なども海外インターンシップでの目的となる。 また、研修全体を通して企業等の実務経験者が研修指導を行う。									
授業の進め	か方・方法	一上に約一人	中に,各受入れ先の海外の企業などにおいて予め設定されたテーマとスケジュールに従い,指導者の指示のも ヶ月間の社会実習を行う.企業等の都合により1か月の期間が取れない場合は,その企業等からのテーマによ 習,事後学習を必ず行うこととする. 応じて一部あるいは全部を不実施あるいは遠隔での実施等に変更となることがあります.									
注意点		評イ行りに基本でする。 評イのは基本では 正本のは では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	: ンシック は	インターンシップ 評価する。 ンターンシップ日記 けべて満たしたターン 出勤簿, インター おいて口頭発表す こおける出席教員に	ップ発表概要書を抗 で経験した実務上の まを提出することで 合格とする。 シップ発表概要書る。 る。 よる評価がすべてな 会における出席教師	O工学的諸問題 『評価する. を期限までに提 の評価項目にお 員による評価カ	を認識し、具体的 出する. Sいて5段階で平均 関連する評価項目	会において口頭発表を 別に示せたか。」という 93以上である. 目において5段階で平				
授業の属	は・履修	上の区分	_		_							
□ アクテ	イブラーニ	ング	□ ICT 利用		□ 遠隔授業対応		☑ 実務経験	のある教員による授業				
15:31/-1-	_											
授業計画	<u> </u>	I I.				»						
			授業内容	1 /2 = 2 = =		週ごとの到達目	目標					
	1stQ			外インターンシップ ターンシップの流れ								
				当教員と相談の上、								
		2,00	シップ受け入れ先の	の決定とスケジュー	ル調整を行う.							
		<u> </u>	3. 必要書類等を払									
		4週	4.7月:海外イン ス(知的財産の取り	ンターンシップのガ O扱いなどの講習を	iイダンスを受け   ·今ォン)							
		5调 .	5、8~9月:海外インターンシップ 巡回する)									
		6週	海外インターンシップ中は日誌を書き, 者にチェックしてもらう.		受入れ先担当							
<u></u> #0			自にデエックしてもらう。 6.9月:帰校後,報告書の作成									
前期					そ行い評価を受け							
			7. 10月: インターンシップ報告会を行い評価を受け る									
		9週										
		10週										
		11週										
	2ndQ	12週										
		13週										
		14週										
		15週										
		16週										

モデルコアカ	リキュ	ラムの学	習内容と到達	 註目標					
分類 分野		分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合									
	試験		発表	相互評価	態度	ポートフォリ	オーその他	合計	+
総合評価割合	0		100	0	0	0	0	100	)
基礎的能力	0		0	0	0	0	0	0	
専門的能力	0		100	0	0	0	0	100	)
分野横断的能力	0		0	0	0	0	0	0	